

桜友会のあゆみ

桜友会 設立

90周年記念

2011

SINCE 1921



平成23年11月13日（日）
桜友会設立90周年記念式典

〔特別フォーラム〕

講師 細川護熙氏
「閑居・私の生き方」

学習院と桜友会の主なできごとをふり返る

桜友会設立90周年 略年表

元号(西暦)	月日	学習院・桜友会のできごと
明治10年(1877)	10.17	天皇后兩陛下をお迎えして、神田錦町にて開業式挙行、学習院創立
41年(1908)	08.05	中等科、高等科、北豊島郡高田村に移転(現在の目白キャンパスの始まり)
大正10年(1921)	01.25 04.23	明治33年に発足した「学習院同窓会」を発展的に解消し、「桜友会」を設立 学習院高等科卒業生を高等学校高等科卒業生と同等とみなす旨の文部省令
12年(1923)	06.28 09.01	中等科と東京高等師範学校付属中学校との定期戦(付属戦)開始 関東大震災により多くの校舎が焼失
昭和03年(1928)	03.30 10.18	豊多摩郡落合村下落合に「昭和寮」設置 学習院開校50周年記念式典挙行(実際は昭和2年が50周年に相当)
10年(1935)	11.13	女子学習院開校50周年式典を挙行
20年(1945)	04.13 05.25 12.08	空襲により目白の木造校舎の大部分を焼失 四谷の初等科と青山の女子学習院の大半の校舎を焼失 学習院、女子学習院学制改正、華族教育機関としての性格を変更
21年(1946)	04.08 04.30 05.01 10.18	女子学習院、牛込区戸山町の騎兵連隊跡に移転 学習院の財団法人化が表明される 中等科北多摩郡小金井町に移転 安倍能成氏が第18代学習院長に就任
22年(1947)	03.31	学習院、女子学習院が合併し、財団法人学習院の経営する私立学校となる(4月1日私立学習院発足) 初等科が男女共学を実施、新制中等科・女子中等科開設
23年(1948)	04.01 05.01	新制高等科、女子高等科開設 「女子教養学園」設置(旧制の高等女学校卒業生を対象とした1年課程の各種学校。昭和27年3月31日廃止)
24年(1949)	04.01	文政学部(文学科、哲学科、政治学科)、理学部(物理学科、化学科)の2学部5学科で、新制の「学習院大学」開学、安倍能成院長が初代学長に就任。中等科が小金井から戸山に移転
25年(1950)	04.01 11.11	「学習院大学短期大学部」設置 第1回四大学運動競技大会開催(学習院大学・成蹊大学・成城大学・武蔵大学)
26年(1951)	03.14 05.18 09.17	財団法人学習院を学校法人学習院に改組 安倍能成作詞、信時潔作曲の学習院歌発表 桜友会再出発第1回例会開催
27年(1952)	04.01 09	文政学部が、文学部(文学科・哲学科)と政経学部(政治学科・経済学科/新設)に分かれる これまでの昭和寮を売却、新たに新宿区下落合に大学男子寮としての昭和寮が置かれ、入寮開始
28年(1953)	04.01	「学習院大学短期大学部」を「学習院女子短期大学」に改称
31年(1956)	05.19	対甲南大学総合定期戦開始、この年「理学部同窓会」設立
32年(1957)	04.01 08.27	文学部の文学科を、国文学科、イギリス文学科、ドイツ文学科、フランス文学科とする 中等科が戸山から目白の新校舎に移転
34年(1959)	11.29	学習院女子短期大学卒業生により「草上会」設立
35年(1960)	08.31	ピラミッド校舎竣工
36年(1961)	04.01	文学部に史学科設置
38年(1963)	04.01 10.18	「学習院幼稚園」開設、理学部に数学科設置 学習院創立85周年記念式典挙行(実際は昭和37年が85周年に相当)
39年(1964)	04.01	政経学部が、法学部(法学科・政治学科)と経済学部(経済学科)に分かれる
41年(1966)	06.07	安倍能成院長逝去
45年(1970)	03.18	桜友会会則を改正(改組)

※学習院は明治10年(1877)東京にて創立されたが、前史というべき京都学習院の時代があった。そもそもは弘化4年(1847)京都御所日御門前に開講された「学習所」が始まりで、その2年後の嘉永2年(1849)孝明天皇より「学習院」の勅額が下賜され正式名称となった。明治10年の創立時には明治天皇よりあらためて勅額が下賜されている。

元号(西暦)	月日	学習院・桜友会のできごと
昭和49年(1974)	04.01	経済学部経営学科設置
50年(1975)	04.01 10.18	文学部に心理学科設置、文学部イギリス文学科を英米文学科に改称 女子部創立90周年式典挙行
53年(1978)	09 10.18	学習院創立百周年記念会館竣工(10月12日より桜友会事務局が移転、使用開始) 天皇皇后両陛下をはじめ皇族方をお迎えして、学習院創立100周年記念式典挙行(実際は昭和52年が100周年に相当)
54年(1979)	05.14	米国前大統領ジェラルド・R・フォード氏に大学から名誉博士号を贈呈し、桜友会は特別会員に推戴
57年(1982)	12.02	「経済学部会」(現・経済学部同窓会)設立
62年(1987)	03.10	バイオリストのニューウーイン氏に大学から名誉博士号を贈呈し、桜友会は特別会員に推戴
平成02年(1990)	03.31	「桜友会史」刊行
03年(1991)	04.01 10.14	文学部の国文学科を日本語日本文学科に改称 アイスランド大統領ヴィグディス・フィンボガドゥティル女史に大学から名誉博士号を贈呈し、桜友会は特別会員に推戴
05年(1993)	11.26	英国前首相マーガレット・サッチャー女史に学習院から栄誉章を、大学から名誉博士号を贈呈し、桜友会は特別会員に推戴し、名誉会員章を贈呈
06年(1994)	12.03	「法学部会」(現・法学部同窓会)設立
08年(1996)	01.20	パキスタンのベーナズィール・ブット首相に学習院から栄誉章を、大学から名誉博士号を贈呈し、桜友会は特別会員に推戴し、名誉会員章を贈呈
09年(1997)	03.31	昭和寮閉寮
10年(1998)	04.01 10.17	学習院女子短期大学を改組して4年制の「学習院女子大学」を開設 「中等科・高等科桜友会」設立
11年(1999)	04.01 05.15	「学習院生涯学習センター」設置 皇太子殿下をお迎えし、学習院大学開学50周年記念式典挙行
13年(2001)	01.20 09.19	皇太子同妃両殿下をお迎えして、桜友会創立80周年記念式典挙行 タイ王国マハー・チャックリー・シリントーン王女に学習院から栄誉章を、大学から名誉博士号を贈呈し、桜友会は特別会員に推戴
14年(2002)	12.13	天皇皇后両陛下をはじめ皇族方をお迎えして、学習院創立125周年記念式典挙行
16年(2004)	04.01	学習院大学に法科大学院設置
18年(2006)	07.09	皇太子殿下をお迎えして、桜友会創立85周年記念式典挙行
19年(2007)	04.01	文学部ドイツ文学科・フランス文学科をドイツ語圏文化学科・フランス語圏文化学科に改称
20年(2008)	04.01	文学部英米文学科を英語英米文化学科に改称
21年(2009)	04.01 06.28 12	理学部に生命科学科設置 学習院大学開学60周年 文学部の哲学科、史学科、日本語日本文学科、英語英米文化学科、ドイツ語圏文化学科、フランス語圏文化学科、心理学科の7学科による「文学部同窓会」設立 理学部南7号館竣工
22年(2010)	03 09.16	ピラミッド校舎解体後の跡地に中央教育研究棟竣工 中央教育研究棟12階にラウンジ「目白倶楽部」オープン
23年(2011)	03.06 04.01 11.13	女子中等科・高等科創立125周年記念式典挙行 「一般社団法人学習院桜友会」となる(登記申請) 桜友会設立90周年記念式典挙行

桜友会設立90周年 今に受け継ぐその歴史

1921 大正10年

華族会館にて設立総会を開催 桜友会の歴史がここに始まる

学習院の創立は明治10年（1877）にさかのぼるが、卒業生が出はじめ、その数が増えるに従って、後に陸軍出身者の会となるが、当初は文武官有志によって作られた「桜友会」や、海軍出身者によって作られた「水桜会」など、有志によるいくつかの同窓会が作られた。その後、明治33年（1900）には「同志会」という卒業生組織が発展的に解消して「学習院同窓会」が発足。この「学習院同窓会」が母体となって、今から90年前の大正10年（1921）、今日の「桜友会」が誕生する。当時の経緯を記した記事が「桜友会史」にあるので参照してみよう。

卒業生の年々増加するにおよび卒業生の間に、警世の志を持つ者が相寄り、当時の親睦団体の同窓会に飽き足らず全卒業生を結集した大同窓会を設立しようとの機運が急速に高まり大正9年（1920）6月に岡部長景、大河内正敏、有馬頼寧、木戸幸一氏らが中心となって「学習院同窓会」の中川良長、黒田長和氏らとも語り、新しい同窓会設立について協議を重ねること二十数回、当時の同窓会を発展的に解消し、新し

い同窓会を「桜友会」と命名して設立することを決定し、会員を募集する等諸準備を重ねて、大正10年（1921）1月2日「桜友会」設立準備評議員会を開催、次いで同月22日に理事会を開き、設立の準備を完了、同月25日華族会館において設立総会を開催し、ここに「桜友会」の創建を見るにいたったのである。

歴史年表を調べてみると、この年の3月から9月にかけて、皇太子裕仁親王殿下がヨーロッパ5カ国を歴訪されている。また、帰国後の11月25日には、大正天皇のご病状悪化を受けて摂政官となられた。そして、翌々年の9月1日には関東大震災が首都圏を襲った。そんな時代であった。

それから90年を経た平成23年（2011）の「桜友会」の会員数は約12万人。ちなみに設立時の会員が2000人程度だったことを考えると、隔世の感がある。

今、目白キャンパスを歩くと、桜友会設立当時からあった建物が静かに私たちに語りかけてくる。さまざまな苦難を経て確かに伝えられているもの、その声にあらためて耳を傾けてみたい。

2011 平成23年

一般社団法人学習院桜友会として 90周年記念の年に生まれ変わる

平成23年度は、設立90周年にあたる節目の年である。この機会に学習院全体の同窓会としての「桜友会」の果たすべき役割を再認識し、良き伝統を引き継いでいく決意を新たにしたい。法人格（一般社団法人）の取得に伴い、活動の中心となる本部組織の整備を進め、全国支部、職域桜友会等との連携を一層密にしていく。会の活動が積極的に流されることなく、常に清新の気風を保つように努め、さらに多数の会員の積極的な参画を得ることを目標とする。

以上は、設立から90年を経た「桜友会」



目白キャンパスでもっとも新しい校舎が、ピラミッド校舎の跡地に建てられた中央教育研究棟。最上階の12階に桜友会員が利用できるレストラン＆ラウンジ「目白倶楽部」がある。母校の音を語り、将来を思う絶好の場所

の「平成23年度基本方針」の前文である。この基本方針にある法人格の取得については、前年5月27日の桜友会総会での承認をふまえ、本年4月1日に「一般社団法人学習院桜友会」として登記申請、同5月26日の桜友会総会を経て実質的にスタートした。12万人という大人数の組織となった「桜友会」が、これまでの任意団体のままでは都合の生じるケースが想定されるようになってきたというのが、法人格取得の理由である。ただし、組織の概要は、法律の規定により「評議員」を「社員」とするなど一部の変更のみで、これまで培ってきた良き伝統は継承されている。

ともあれ「桜友会」が法人格を持ったことは、「桜友会」の歴史に鮮やかに刻まれることだろう。また、設立90周年という区切りの年も、将来、それぞれの時期に振り返ってみれば、重い意味のある年であるのかもしれない。10年後は「桜友会」設立100周年である。「一般社団法人学習院桜友会」発足10周年ということにもなる。こうした思いを胸に、今、90周年を卒業生および関係者全員で祝いたい。

目白の森に生きつづける名建築たち 学習院伝統の学びの心がここにある

東別館

学習院らしい歴史を秘めた
建物がさりげなくたずむ



大正2年築。旧皇族寮。全寮制だった当時、秩父宮雅仁親王殿下ら皇族たちが若き日々を過ごした。入口には馬車をつける車寄せがある。現在も教室として使われており、木造の感触がノスタルジックだ。

北別館

明治に建てられた図書館
その一部が残されている



明治42年築・平成9年改修。旧図書館。東京音楽学校奏楽堂や帝国図書館などを設計した久留正道による。現在は学習院大学史料館として使われている。学習院の古き良き伝統を思い起こさせてくれる目白のお宝。

正門

明治以来同じたずまい
目白と戸山の学習院正門



明治41年築。学習院が目白に移転したときに建てられ、現在も当時のまま使われている。戸山の学習院女子大学の「鉄門」は明治10年の学習院創立当時のもので、昭和48年に国の重要文化財に指定されている。

桜友会の歴史とともに歩んだ 目白キャンパスの7つの文化財

学習院が目白に移転したのは明治41年。以来、目白キャンパスに残された最初期の建物7つが、平成21年3月に国の登録有形文化財となった。時代の最先端の設備を整えた校舎群の中で、この7つの建物が学習院の伝統的な学びの心を伝えてくれているかのようである。

厩舎

馬場と厩舎が学内にある
学習院はそんな珍しい学校



明治41年築・昭和2年移築・昭和58年改修。もとは正門の向かい側あたりにあったものを昭和2年に現在の場所に移築。旧制時代、馬術は武謀の授業のひとつ。今は馬術部の学生たちが馬の面倒を見る。

乃木館

乃木希典院長ゆかりの
お榊壇も近くに残る



明治41年築・昭和19年移築。旧総寮部。目白移転後、6棟の寄宿舎、食堂、衛生棟とともに総寮部として建てられたが、昭和19年の取り壊しの際、故・乃木希典院長の居室部分が移築され、今日まで残された。

南1号館

今は背後に高層の
新校舎がそびえている



昭和2年築。旧理科特別教場。中・高等科の理科教室として設計されていたため、昭和24年の大学開設後は理学部研究棟となった。現在、南1号館の裏手には平成21年に竣工した高層の南7号館がそびえる。

西1号館

文系学部出身者には
廊下のおいも懐かしい



昭和5年築・同9年増築。旧中等科教場。昭和24年の大学開設後は文政学部の本館となった。外観は南1号館と同様のネオ・ゴシック様式。語学の授業でこの校舎に通った思い出を持つ人も多いはずだ。

桜友会設立90周年記念事業として
「桜友会会員名簿」を発行いたします。
桜友会ホームページなどでご確認下さい。



[桜友会の現況]

〈会員〉

会員数 118,858名

(正会員/基本会費納入会員101,337名 普通会員/基本会費未納会員17,521名)

学生会員数 6,175名 (基本会費納入者)

〈役員・社員等〉

会長1名 副会長4名 常務理事17名 理事26名 監事4名

社員147名 名誉会長2名 顧問6名 参与50名 社員・役員候補者推薦委員15名

桜友会選出学校法人学習院役員 理事3名 評議員17名 課外活動助成委員3名

〈支部・部会・団体〉

全国支部51支部 海外支部24支部

大学4学部会 (法学部同窓会、経済学部同窓会、文学部同窓会、理学部同窓会)

草上会 (学習院女子大学・学習院女子短期大学同窓会)、中等科・高等科桜友会

職域桜友会196団体 輔仁会OB・OG会135団体

(平成23年7月10日現在)

一般社団法人 学習院桜友会

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院創立百周年記念会館内

TEL.03-3988-3288 FAX.03-3988-3853

URL <http://gakushuin-ouyukai.jp/> E-mail office@gakushuin-ouyukai.jp